

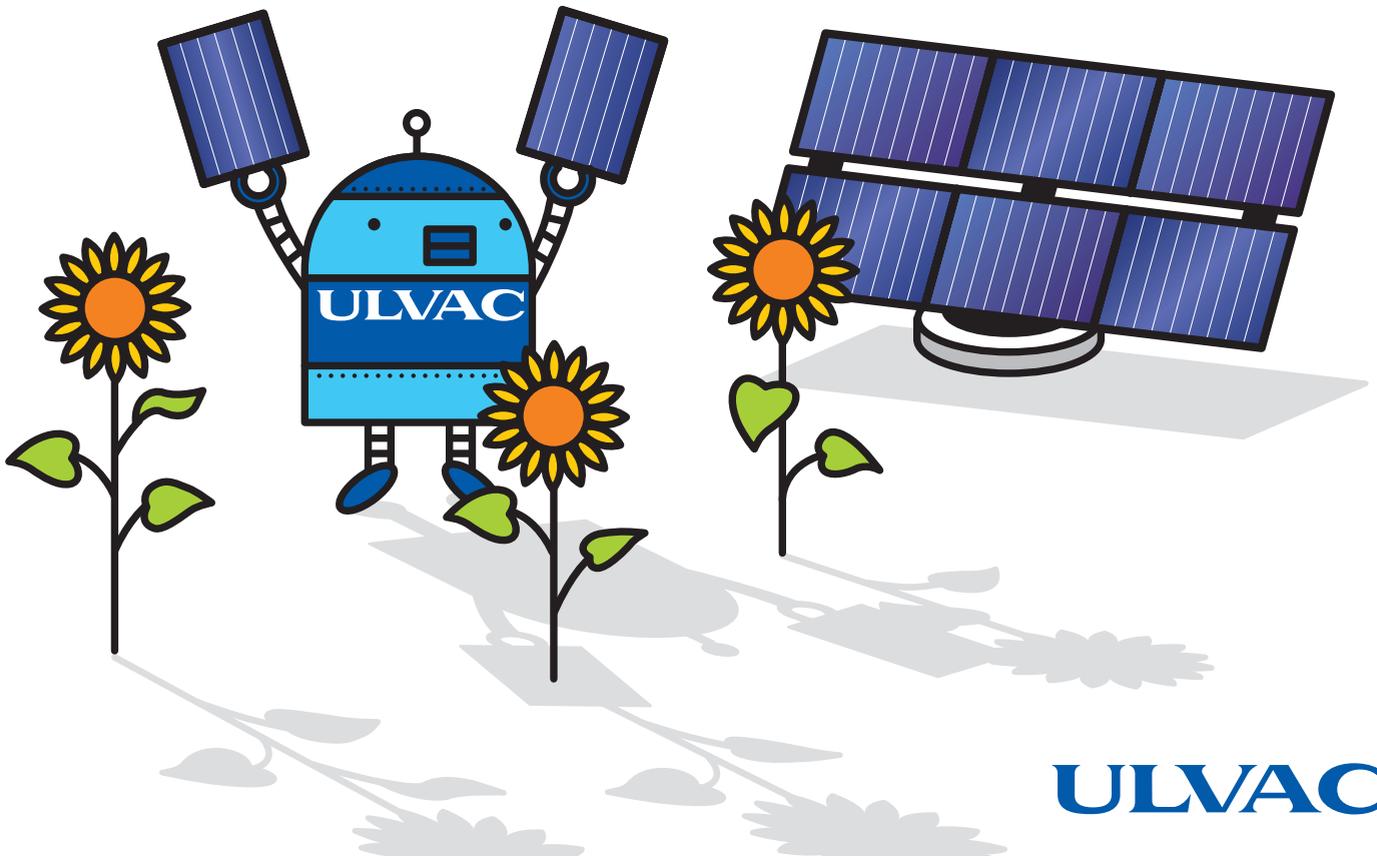
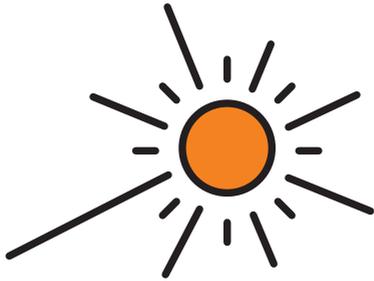
ULVAC REPORT

第105期 中間報告書

2008.7.1 ▶ 2008.12.31

アルバック クローズアップ

アルバックのエネルギー・
環境ビジネス



ULVAC

ターンキーソリューションの 進化で顧客ニーズに 応えていきます。

代表取締役社長
諏訪 秀則



当中間期(当第2四半期連結累計期間)における経営環境は、アルバックグループの主要なお客様であるフラットパネルディスプレイ(FPD)業界において、在庫調整などによる設備投資の抑制が続いたほか、半導体業界でもメモリの供給過剰と需要減退の影響により設備投資の抑制が一段と強まり厳しい状況となりました。一方、エネルギー・環境関連では、太陽電池やハイブリッド・カー関連に加え、発光ダイオード(LED)などの新たなエネルギー・デバイスの需要が増大しました。なかでも太陽電池市場は、欧米や中国を中心としたクリーンエネルギー政策を背景として急速な拡大を続けています。

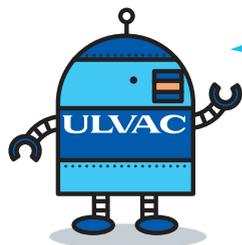
アルバックグループは、このような経営環境に対処するため、競合他社に先駆けて独創的な新製品を市場に投入し、積極的な受注活動を推進いたしました。成長地域である中国、韓国、台湾に進出し、カスタマーサポート事業

やリサイクルビジネスなど当社の成長戦略である「ポストFPD戦略」を積極的に推進するとともに、「ポストFPD戦略」を実現するための新技術・新製品開発の投資を積極的に行ってまいりました。アルバックグループではさらに、固定費の圧縮や標準化をはじめとする生産改革の推進、グループ内垂直統合と内製化によるもの作りの推進を通じて一層のコストダウンを進めました。

しかしながら、当中間期の連結業績は、世界的な景気後退の影響を受け、売上高、経常利益、四半期純利益ともに前年同期を下回る結果となりました。

アルバックグループは、今後も独創的な新製品を競合他社に先駆けて市場に投入し、「アルバックソリューションズ」を積極的に推進してまいります。

株主の皆様には、引き続きご理解とご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



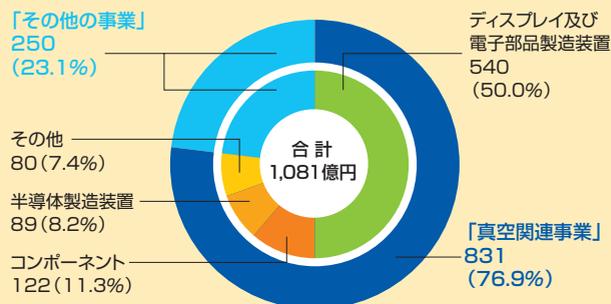
当第2四半期連結累計期間の業績ポイント

当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高1,148億67百万円(前年同期比1.2%減)、売上高1,081億10百万円(同7.4%減)、経常利益11億67百万円(同50.3%減)、四半期純利益14億39百万円(同37.6%減)となりました。

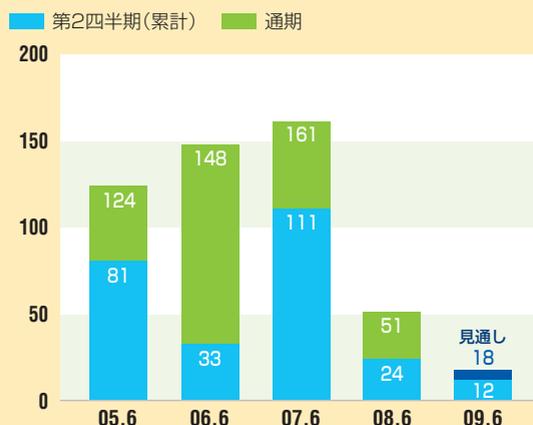
売上高 (単位：億円)



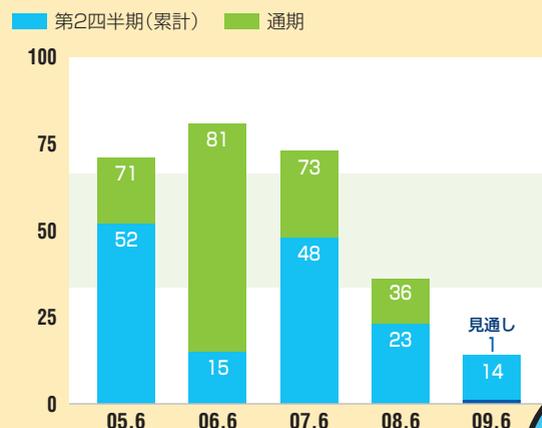
事業別売上高 (単位：億円)



経常利益 (単位：億円)



四半期(当期)純利益 (単位：億円)



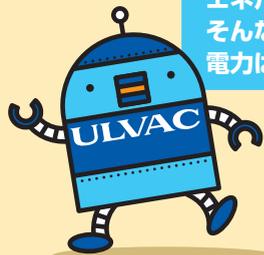
※上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。



アルバックの エネルギー・ 環境ビジネス

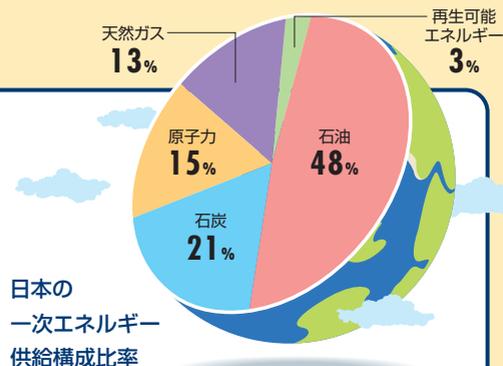
エネルギーは
様々な形で電力に変えられ、
人々の暮らしを支えています。

人間の生活には
エネルギーが欠かせないんだ！
そんなエネルギーの中でも
電力は特に重要なんだね！



世界のエネルギー需要はますます高まっています。

今、地球上で最も多く使われているのが、化石燃料といわれる石油・石炭・天然ガス。これらは量に限りがあるうえ、燃焼すると地球温暖化の主因となるCO₂を放出します。しかしながら、人間の生活や経済の発展のために、世界のエネルギー需要はますます高まっています。エネルギー自給率についても、日本はわずか4%と非常に低く、輸入化石燃料への依存度が非常に高い状態です。



化石燃料に代わる新しいエネルギーを開発する必要があります。

そんな中で、資源枯渇のおそれがないうえ、CO₂の排出量が少なく環境負荷が低いクリーンなエネルギーが求められています。太陽光発電や原子力発電など化石燃料に代わる新しいエネルギーの創出にビジネスチャンスが生まれています。



太陽光発電



原子力発電

新しい
クリーンエネルギーで
電力を確保する必要があります

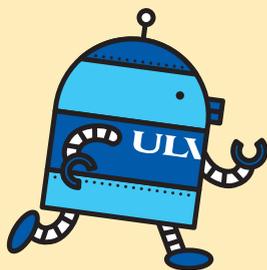


風力発電

アルバックは
どんなふうに
貢献できるのかな？



燃料電池

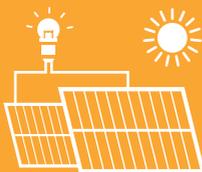


アルバックは自社の強みを活かし、
 様々な製造装置をお客様に提供することで
 エネルギー・環境ビジネスに取り組んでいます。

エネルギービジネス

つくる

太陽電池



ためる

二次電池



リチウムイオン電池・
ニッケル水素電池・Nas電池

環境ビジネス

環境の
負荷を減らす

ディスプロシウム
希土類永久磁石
生産装置



洗浄技術



資源の
有効活用

希少金属の
リサイクル



アルバックの

強みを活かした装置と
ソリューションを提供

アルバックの強み

研究開発による最先端技術と蓄積された
生産技術を両輪とした「もの作り」、お客様
の立場に立って提案するマーケティング
力、そしてグループ企業の総合力を活かし
たアルバックソリューションズ。
これらの強みを活かして、
エネルギー・環境ビジネス
でも業界をリードします。



お客様

アルバックは、
エネルギー・環境の
いろんなビジネスで
活躍してるんだね！



エネルギー・環境ビジネスを先駆ける ターンキーソリューションの事例紹介

薄膜太陽電池一貫製造ライン

アルバックは、一貫ラインの装置によって、お客様がすぐに太陽電池の生産が開始できるターンキーソリューションを提供しています。これにより、お客様のラインの早期立ち上げだけでなく、資材調達や生産指導、メンテナンスサービスなどもあわせてご提供できます。さらに2009年4月より太陽電池評価設備を茅ヶ崎本社工場内に設置することにより、太陽電池モジュールの性能、信頼性、安全性の試験を行うことも可能となります。



何ができるの？

- 太陽光パネル



どこで
使われているの？

- 太陽光発電所
- 工場・公共施設



薄膜リチウム二次電池一貫量産ライン

薄膜リチウム二次電池は、大きく分けて電極活物質層、電極集電層、固体電解質層及び封止層の4つの部分で構成されますが、このすべてをアルバックの装置群と、アルバックマテリアルのターゲット材料を使って形成することが可能になりました。薄膜リチウム二次電池は、薄膜、軽量、フレキシブルという特徴から、安全性や適用性に優れ、数年後には1兆円市場に成長するとの予測もあります。



何ができるの？

- 薄膜リチウム二次電池



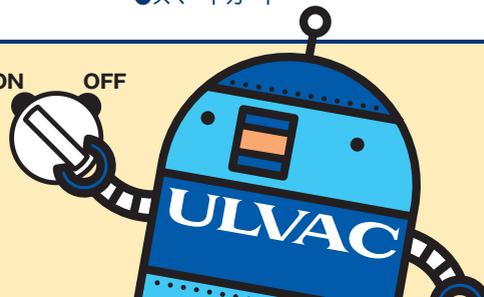
どこで
使われているの？

- 小型電子機器
(RF-IDタグ、MEMS-IC)
- 生体医療機器
- スマートカード



“ターンキー”とは、キーを回すだけで
生産がスタートできる、という意味だよ！

ON OFF



連結財務諸表

四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科目	期別	当第2四半期 連結会計期末 2008年12月31日現在	前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 2008年6月30日現在
(資産の部)			
流動資産		227,828	186,578
現金及び預金		24,521	17,603
受取手形及び売掛金		78,552	76,193
たな卸資産		109,971	81,728
繰延税金資産		6,230	4,711
その他		8,683	6,517
貸倒引当金		△129	△175
固定資産		121,352	116,491
有形固定資産		100,009	93,799
建物及び構築物		42,183	42,138
機械装置及び運搬具		28,253	27,341
その他		29,574	24,320
無形固定資産		3,709	3,838
投資その他の資産		17,634	18,853
投資有価証券		5,154	7,963
繰延税金資産		7,318	5,968
その他		5,162	4,923
資産合計		349,180	303,069

(単位：百万円)

科目	期別	当第2四半期 連結会計期末 2008年12月31日現在	前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 2008年6月30日現在
(負債の部)			
流動負債		201,318	150,771
支払手形及び買掛金		89,094	63,873
短期借入金		65,700	36,588
その他		46,524	50,309
固定負債		56,733	60,445
社債		200	200
新株予約権付社債		15,500	15,500
長期借入金		24,580	28,415
繰延税金負債		12	2
その他		16,441	16,328
負債合計		258,051	211,216
(純資産の部)			
株主資本		88,966	87,477
評価・換算差額等		△4,485	567
少数株主持分		6,648	3,810
純資産合計		91,129	91,853
負債及び純資産合計		349,180	303,069

※記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	期別	当第2四半期 連結累計期間 2008年7月1日から 2008年12月31日まで	前中間連結会計期間 2007年7月1日から 2007年12月31日まで
売上高		108,110	116,706
売上原価		85,933	95,026
売上総利益		22,176	21,680
販売費及び一般管理費		18,410	18,006
営業利益		3,766	3,674
営業外収益		978	965
営業外費用		3,577	2,288
経常利益		1,167	2,351
特別利益		173	2,853
特別損失		1,297	579
税金等調整前四半期純利益		42	4,625
法人税、住民税及び事業税		1,995	2,214
法人税等調整額		△3,010	161
少数株主利益		△381	△55
四半期純利益		1,439	2,305

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	期別	当第2四半期 連結累計期間 2008年7月1日から 2008年12月31日まで	前中間連結会計期間 2007年7月1日から 2007年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,513	△10,857
投資活動によるキャッシュ・フロー		△8,996	△13,325
財務活動によるキャッシュ・フロー		14,308	27,198
現金及び現金同等物に係る 換算差額		△1,597	△281
現金及び現金同等物の増減額		5,228	2,735
現金及び現金同等物の期首残高		16,977	11,664
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額		1,187	1,464
現金及び現金同等物の 四半期末残高		23,391	15,863

当冊子の表記について

当期から金融商品取引法に基づく四半期報告制度が導入されたことにより、
表記内容が変更されていますが、当冊子では株主様の利便性を考慮し、以下を取り決めました。

- 収益関連数値については、期初からの「累計値」を用いています。
- 当四半期の財務情報と前年同期の財務情報とでは会計基準や用語表現などが異なります。しかし前年と比較しやすいよう、主要数値については「ご参考値」として併記しています。

会社データ

会社概要 2008年12月31日現在

商号 株式会社アルバック
ULVAC, Inc.
商標 ULVAC
本社 神奈川県茅ヶ崎市萩園2500番地
設立 1952年8月23日
資本金 13,467,797,500円
従業員数 2,003名 (連結6,868名)

役員 2008年12月31日現在

代表取締役会長 中村 久三
代表取締役社長 諏訪 秀則
専務取締役 山川 洋幸
専務取締役 常見 佳弘
専務取締役 砂賀 芳雄
取締役 藤山 潤樹
取締役 加藤 丈夫
取締役 佐藤 孔史
取締役 本吉 光
取締役 五戸 成史
取締役 末代 政輔
取締役 小田木秀幸
取締役 平野 裕之
取締役 山元 正年
取締役 中村 孝男
取締役(非常勤) 宇治原 潔
取締役(非常勤) 中野 佳信
監査役 大井 宣夫
監査役 待鳥 啓信
監査役(非常勤) 原 稔
監査役(非常勤) 浅田 千秋
監査役(非常勤) 小宮路幸一

株式の状況

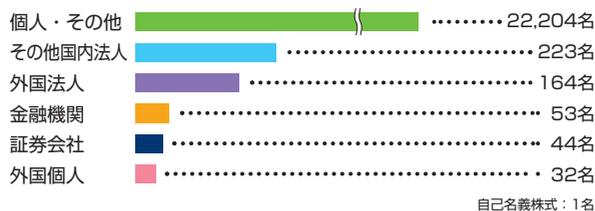
株式の状況 2008年12月31日現在

発行可能株式総数 80,000,000株
発行済株式の総数 42,905,938株
株主数 22,721名

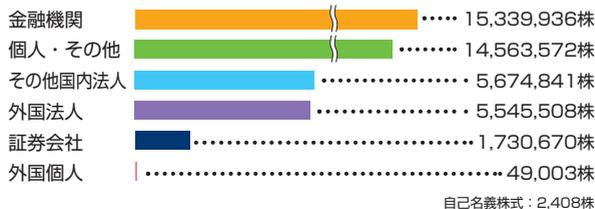
大株主

株主名	当社への出資状況 持株数(千株)	当社への出資状況 議決権比率(%)
日本生命保険相互会社	3,602	8.40
株式会社三井住友銀行	1,864	4.35
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,820	4.24
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,616	3.77
株式会社みずほ銀行	1,604	3.74
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	1,458	3.40
アルバック持株会	1,202	2.80
野村證券株式会社	881	2.05
稲畑産業株式会社	795	1.85
パナソニック株式会社	782	1.82

所有者別株主数 合計：22,721名



所有者別株式数 合計：42,905,938株



アルバックの 「薄膜太陽電池一貫製造ライン」が 「2008年日経優秀製品・サービス賞 最優秀賞 日本経済新聞賞」を受賞!



2009年1月、アルバックの「薄膜太陽電池一貫製造ライン」が「2008年日経優秀製品・サービス賞」において、最優秀賞である「日本経済新聞賞」を受賞しました。

受賞した「薄膜太陽電池一貫製造ライン」は、薄膜シリコン太陽電池製造に必要なすべての機器にプロセス、品質管理技術、生産指導、メンテナンスサービスなどの付帯業務をトータルで提供するものです。審査に当たった委員からは、「生産ノウハウの提供も含めて海外太陽電池メーカーの需要を的確に捉え、優れた省エネルギー・環境技術の輸出に成功した」「顧客が装置を導入すれば、太陽電池を量産できる」といった評価をいただきました。また、本業のもの作りと環境活動をリンクさせ、環境ビジネスの新たな地平を切り拓いているアルバックの企業姿勢が認められました。

アルバックグループは今回の受賞を励みとして、次世代エネルギー市場の更なる拡大に取り組むとともに、環境に配慮した技術と製品の開発を通じて地球環境の保全に貢献してまいります。



表彰式では代表取締役社長 諏訪秀則(写真:左)が登場し、表彰状をいただきました。



表彰式後の記念撮影

株主メモ

事業年度 7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会 9月下旬
基準日 定時株主総会・期末配当 6月30日
株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
(郵便物送付先) 中央三井信託銀行株式会社
証券代行部(証券代行事務センター)
(電話照会先) TEL.0120-78-2031(フリーダイヤル)
取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店
ならびに日本証券代行株式会社の本店及び全国各
支店で行っております。

住所変更など諸手続のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました
株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株
式会社にお申し出ください。

(中央三井信託銀行への手続用紙<住所変更・買取請求・配当金振込指定など>のご請求)
フリーダイヤル 0120-87-2031(24時間受付:自動音声)
ホームページアドレス http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

未払配当金の支払について

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申し出ください。

株券電子化実施後の配当金受取方法のお取扱いについて

株券電子化により、従来の配当金振込口座のご指定方法に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で株主様の保有しているすべての銘柄の配当金のお受取りや、証券会社の口座でも配当金のお受取りが可能となります。確実に配当金をお受取りいただくためにも、これらの振込みによる配当金のお受取りをお勧めします。詳しくはお取引証券会社等にお問合せください。

HPのご案内

当社ホームページでは、最新のニュースや技術情報など、
当社をご理解いただくための様々な情報を提供しております。

<http://www.ulvac.co.jp/>



株式会社アルバック

本社/工場
〒253-8543 神奈川県茅ヶ崎市萩園2500
TEL. 0467-89-2033

東京事務所
〒104-0028 東京都中央区八重洲2-3-1
TEL. 03-5218-5700